

小坂井地区公共施設再編整備基本計画 策定状況に関する住民説明会

ニュース



住民説明会 平成 28 年 11 月 10 日（木）18:30～ 小坂井生涯学習会館 参加者55名でした！！



豊川市では、現在、小坂井地区における公共施設再編整備基本計画策定に取り組んでいます。11月10日（木）に小坂井生涯学習会館にて開催した住民説明会の内容を以下のとおりまとめました。

住民説明会のスケジュール

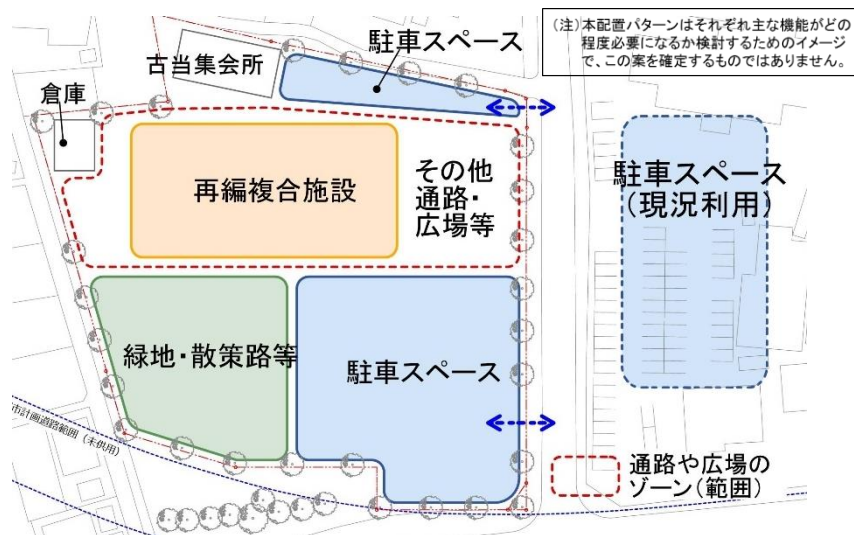
1. あいさつ
2. 小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定状況の説明
 - ① 小坂井地区における公共施設再編の概要と今後の進め方
 - ② 計画地の現況
 - ③ 平成27年度小坂井エリア公共施設再編意見交換会
 - ④ 住民アンケート及び住民ワークショップの紹介
 - ⑤ 公共施設再編の基本方針（案）
 - ⑥ 再編計画の前提条件の整理と進め方
3. 質疑応答
4. その他



住民説明会の資料及び写真

《基本となる配置パターン》

◎敷地の北側に再編施設を配置し、施設の周りにバランスよく駐車場や緑地を配置する案をベースに進めていく予定です。



みなさんから、たくさんの活発な意見をいただきました！
ありがとうございました！



《建物内の機能構成の考え方》

(注)本レイアウトはそれぞれ主な機能を何階に配置するかを検討するためのイメージで、この案を確定するものではありません。



1階

【支所機能＋児童館機能】



2階

【生涯学習・コミュニティ機能＋図書館機能】



質疑応答のまとめ（支所・生涯学習・図書館・児童館他）

質問		回答
支所機能について	◆支所機能は何を備えるのか。	●現状の機能の継続を基本とする。
	◆現在の半分程度の広さで足りるのでは。	●事務室の広さは現状と同程度は必要と考えている。
生涯学習機能について	◆集会室や会議室はどのような計画か。	●2階に現状と同程度の部屋数を整備する予定。
	◆会議室数はどの程度か。体操や太鼓の練習など運動できる広さはあるのか。	●最少で6部屋、最多で8部屋と考えている。100人以上入れる部屋を1、2階とも1室ずつ設け、太鼓などの練習にも配慮していきたい。
	◆社交ダンス等で利用している。今の集会室は確保されるのか。壁の一面を鏡張りにしてほしい。	●集会室の広さは現状と同程度と考えている。ご要望については、可能な範囲で配慮していきたい。
	◆集会室の広さはどうか。音を出しても大丈夫か。	●広さは現状と同程度。防音への配慮はしていきたい。
	◆現状より狭くなっているのでは。新施設に現在の部屋が確保できるか。	●共用部分の面積減はあるが、現状と同程度の広さは確保していく。
図書館機能について	◆常設の学習室を設けないのか。今の施設はとても貧弱で、御津図書館程度の蔵書数、学習室は必要。	●図書館機能の中に学習室を設ける予定。蔵書数は、現状と同程度を前提として計画。
	◆ワークショップ、アンケートではソフト的な運用面での意見が多い。具体的な検討はしているか。	●今年度の基本計画は施設イメージを作っている。今後の設計でソフト面の検討に取り掛かる。
児童館機能について	◆子育て支援の充実というのがある。児童館は設置基準を満たすことができるのか。	●設置基準を満たすように整備する。
基本方針について	◆「安心安全で、人にやさしく」、「小坂井地区における特色あるまちづくり」という基本方針はどういった内容か。	●多世代交流ができ、地域の核として愛着を持ていただける施設を作りたい。 ●高齢者対策は今後検討。基本方針案は高齢者等に配慮は必要として記載した。 ●施設を利用する方々にも考えていただき、小坂井ならではのまちづくりをしていきたいと考えている。
スケジュールについて	◆何年後に建つのか。	●H33 年度に完成予定。



質疑応答のまとめ（その他）

質問	回答
◆予算はどの程度か。	●建設費はまだ算定していない。参考として、豊橋市大清水地区、岡崎市額田支所の複合施設はどちらも約10億円と聞いている。
◆全て壊すのはもったいないのでは。	●現状の小坂井庁舎を利用した場合、残りの寿命が短く、改修費用も約5億円かかる。複合化した施設を建設し、新たな賑わいの場としたい。
◆公共施設の数減らして維持管理費を少なくしていくべき。今後、どのように費用の削減に努めていくつもりなのか。	●1つの施設に統合することでランニングコストを削減する。
◆保健センター機能は、付加機能に含まれるか。	●保健センター機能を複合化する予定はないが、地域巡回健診等に、対応できるように配慮したい。
◆児童館を保健センターとして活用してはどうか。	●その予定はない。
◆小坂井地区だけ保健センターが無いが作る予定は。	●旧町の保健センターは稼働率が低い状況。今後作る予定はない。
◆今後小坂井の住民が要望したものを反映されるようにしてほしい。	●全てを反映することは難しいが、住民説明会等でご意見やご要望を伺い、なるべく反映するようにしたい。
◆本日出た意見を広報などで見られるようにしてほしい。	●町内会の回覧板等で回す予定。これまでの策定委員会の結果はホームページ等でご覧いただける。

要 望 いろいろ

- ◆施設の建設の目的は明確か。
- ◆図書館を核に考えてほしい。
- ◆あらゆる人々に対して、ハードルが低く、多様性の高い施設が良い。
- ◆小坂井中学校区の史跡、豊かな歴史を伝えてほしい。
- ◆使用者主体で運営できる施設管理方針を望む。
- ◆現場で管理する人、使う人と意見交換の場を設けてほしい。
- ◆各部屋に個別空調の設置をお願いしたい。
- ◆健康づくりが出来る機器を置けるスペースなど、高齢者が運動する事が出来る機器の導入。子供達も利用できる健康づくりの機能が施設に欲しい。
- ◆説明会は休日も実施すべき。
- ◆図書館機能の充実、飲食スペースも是非入れてほしい。
- ◆第3回、第4回策定委員会の間に地元説明会を実施し、本日出た意見が基本計画に反映されているのか知りたい。
- ◆「てどり館」、「いかまい館」のような高齢者にとって温かい場、施設にしてほしい。
- ◆出来るだけ安くお願いしたい。





ひとことアンケート



【説明会のあり方や住民意見の取り入れ方について】

- 各地区でこのような説明会を開催してほしい。
- 若い人の意見を聞きたい。私の周りは関心が低い。
- 第3回策定委員会で決定せず変更要望が活かせる説明会に。
- もう一度計画を聞きたい。市民が気楽に寄って、利用できる場を。
- 本日出された意見を十分に反映してほしい。
- 地域住民ファーストが最大の柱となるべき。機能別に住民意見を聞く場が必要。
- ワークショップも参加したが、形だけの話し合いで終わらず、出来るだけ意見を受入れてほしい。
- ワークショップの中で出された、要望・意見が具体的に資料として残っていなかったのは少し残念。全ての意見が住民の目にとまるよう知らせてほしい。

【施設の方針・方向性について】

- 支所の活用などもう少し具体的な案を提示してほしい。
- 現在の建物と計画案との比較資料が欲しい。
- 新しい施設は長く使えるような建物にしてほしい。
- 現在使える施設は、最小限の費用で改修して有効に利用してほしい。建替えが目的ではない。そのメリットや費用を市民に向けて明確にすべき。

【個別の機能について】

- 保健センターがあるとよい。現在の保健センターは不便で少子高齢化に逆行している。現在の児童館を活用すれば良いのでは。
- 子供達が活用出来る施設であってほしい。小坂井地区に文化芸術を開催できる場所を無くさないでほしい。
- 図書館の規模は音羽の図書館ぐらいい必要。3万冊では少ない。
- 防災センター的な機能を重視してほしい。
- 災害避難所としての機能が必要。建物は3階以上を考えてほしい。
- 子育てサークルで毎週集会室を利用している。まとまった場所に倉庫が確保出来るようにしてほしい。

【その他】

- 諸施設の統合と複合により、今後の維持費を節減していくという主旨を理解できた。
- 策定委員会案での提案が一部活かされた案であり、少し前進したと思う。
- 将来に過大な負担を残さないため、複合化や多機能化を進め、公共施設をどんどん減らしてほしい。新しい複合施設もできるだけ簡素なものにしてほしい。



<問い合わせ先>

豊川市総務部財産管理課

電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/kanzaikeiyakuka2015.html>

本取組みに関することはホームページ、ニュース等を通じて公開しています。

ご意見、ご要望については、メール、窓口等の他に、小坂井支所及び小坂井生涯学習会館に意見箱を設置し、随時受け付けています。



【意見箱】

